

国土交通委員会での質問要旨

そのうら健太郎は国土交通委員会で質問に立ち、北側国交相らに対し、「安全、安心」をテーマに様々な質問をいたしました。その要旨をご報告します。

鉄道の安全について

Q 踏み切りなどの事故ではなく、福知山線の事故に代表されるように、走っている電車が転倒したのでは、我々は気をつけようがない。最近も、山手線で、レールが沈下し長時間不通になった。一步間違えば大事故になったが、国交省はどう対応しているか。

A ラッシュ時間とも重なり、多数の利用者の方々に影響を与えたことは、大変残念だ。JR東日本に対し、徹底的な原因究明と、同種の工事に起因する輸送障害などの防止策を指導している。今回の件は、トンネル工事を施工した後、始末の仕方が十分でなかったというのが現在までわかっているところだ。

航空の安全について

Q JALは事業改善命令以後も、重大インシデントが起こっているが、航空局の認識やいかに。(報じられているような)会社の内紛があると、我々としては、安全に金をかけているかどうか、疑問になるが、どのように考えているか。

A ヒューマンなエラーが非常に多い。そうした面を中心にきっちり立入検査、監査等を行っている。安全管理体制をしっかりとつくっていただかないといけないし、監視、監督をしていく。今後とも安全な運航がきちんと確保されているかどうか、そこは厳しく見ていく。

住宅の安全について

Q 偽装の問題になっているマンション以外のマンションに住んでいる方々も、住んでいるマンションが、本当に大丈夫なのか不安をかなりお持ちだが、対処方法を考えているか。

A 偽装事件を受け、不安が広がっているのはもう当然の話だと思う。今回の物件とは別にサンプル調査を、三月までにやろうと取り組んでいる。耐震診断をまずやっていただくことが大事だ。耐震診断ができるだけ早くできるように、取り組みをする。

来年度予算について

3月2日、来年度予算案が衆院を通過し、年度内成立がほぼ確実な情勢となりました。構造改革や民間の皆様の努力による景気回復の効果が現れ、新規国債発行額が30兆円を割ったほか、総額でも80兆円を切る予算となっています。小さな政府への進展は、着実に進んでいます。

しかしながら、国の借金が新たに増えている状況に変わりはありません。「基礎的財政収支」(いわゆるプライマリーバランス)も、いまだ赤字です。家計でいえば、ローンなどの返済を除いたとしても、給料などの収入よりも、食費などの支出にかかるお金が大きいという状態が続いています。特別会計の見直しなど、国もスリム化をもっともっと図っていかねばなりません。

このため、先輩にお願いし、行政改革に関する特別委員会の委員に就任させていただきました。委員として、行革に積極的に取り組んで参ります。

感謝の集い御礼！

2月28日に市川グランドホテルにて、感謝の集いを行いました。当日は中馬規制改革担当相、浜田靖一自民党千葉県連会長、森英介前厚生労働副大臣らがお見えになり、麻生外相からもビデオメッセージが寄せられました。900人を超える方々にご参集いただき、盛大に開催することができました。みなさまから頂いた激励を胸に、これからも頑張ってまいります。

発行 そのうら健太郎事務所

国会 東京都千代田区永田町2-2-1-211

03-3508-7701(直通)

地元 千葉県市川市八幡2-16-20-203

047-318-1001

Eメール sonoura@au.wakwak.com

ホームページ <http://www.sonoken.org>

(日記を毎日、更新しています)

ご意見、ご要望をお待ちしております